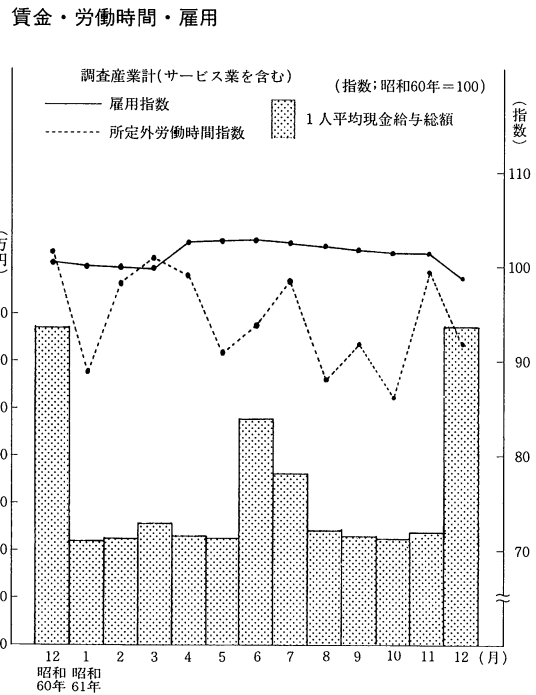
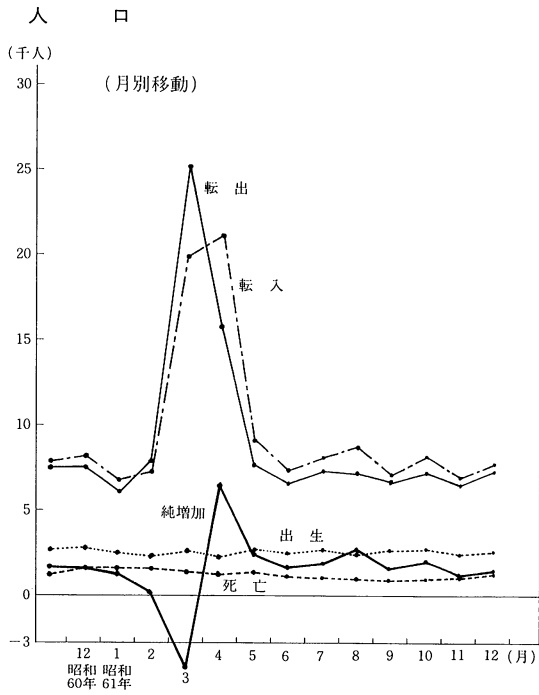
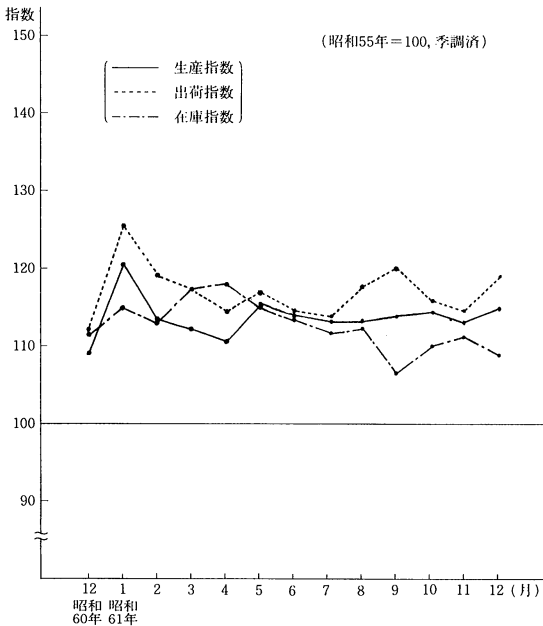


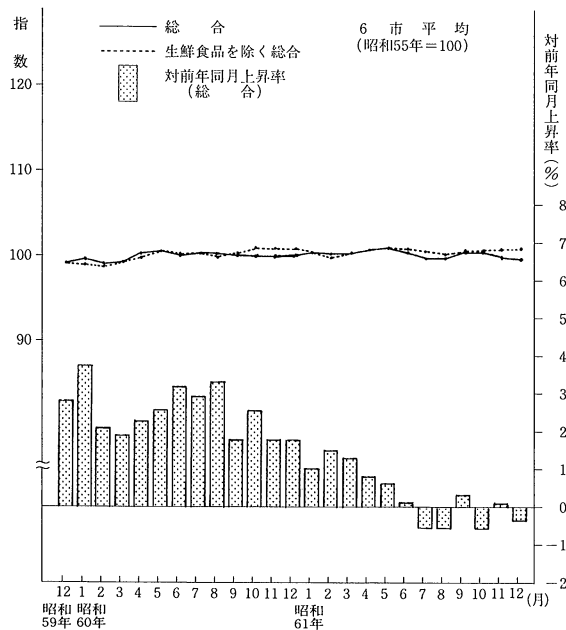
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし 企画部統計課

■ 人 口 (1月1日)

本県の人口は、12月中に1,667人増加し、1月1日現在で2,751,865人(男1,371,410人、女1,380,455人)となった。61年中の人口増加は21,235人(0.78%)で、昭和60年(0.89%)を下回った。

内訳は、自然動態で1,187人(出生2,779人、死亡1,592人)、社会動態で480人(転入7,991人、転出7,511人)、そ

れぞれ増加した。

市町村別では、増加が15市45町村、減少が4市25町村、増減なしが3村である。

世帯数についても、250世帯増加して、771,592世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (12月)

1. 平均賃金の推移

12月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は675,787円で前月に比べ182.5%増(前年同月比0.1%増)であった。

このうちきまって支給する給与は233,959円で前月に比べ0.7%増(前年同月比1.1%増)であり、特別に支払われた給与は441,828円で前年同月に比べ1,560円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は176.9時間で、前月に比べ0.4%減(前年同月比2.3%減)であった。

このうち所定内労働時間数は160.1時間で、前月に比べ0.7%減(前年同月比1.4%減)であり、所定外労働時間数は16.8時間で、前月に比べ3.0%増(前年同月比9.7%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると101.6で、増減率は前月に比べ0.5%減、前年同月に比べ0.7%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (12月)

本県における昭和61年12月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が115.1、出荷が119.1、在庫が109.1で前月比は、生産が1.6%の上昇、出荷が3.7%の上昇、在庫が1.9%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が5.5%の上昇、出荷が6.2%の上昇、在庫が2.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、木材・木製品工業、電気機械工業等が低下した。出荷では、輸送

機械工業、石油・石炭製品工業、精密機械工業等が上昇し、一般機械工業、木材・木製品工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、一般機械工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉱業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財が低下した。出荷では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、建設財が低下した。在庫では、資本財、建設財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (12月)

昭和61年12月の茨城県消費者物価指数は、総合で99.9(昭和60年=100)となり、前月比△0.3%、前年同月比△0.3%の下落となった。

今月上がった主な項目……乳卵類2.2%、油脂・調味料1.1%、身の回り用品0.8%

今月下がった主な項目……他の光熱△7.8%、果物△6.8%、魚介類△3.7%、教養娯楽耐久財△1.4%、野菜・海草△0.8%

生鮮食品を除く総合は、100.8となり、前月、前年同月

ともに変わらなかった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	99.9	△0.3	△0.3	保 健 医 療	102.0	△0.1	1.5
食 料	98.2	△0.6	△0.5	交 通 通 信	99.4	△0.4	△1.2
住 居	103.0	0.1	1.6	教 養 育	104.6	0.0	3.6
光熱・水道	91.9	△0.5	△7.5	教 養 娯 楽	101.0	0.1	0.2
家具・家事用品	99.7	0.0	△1.0	諸 雑 費	102.7	0.2	2.8
被服及び履物	105.3	0.1	1.7	生鮮食品と総総合	100.8	0.0	0.0